

## グリーンスローモビリティの実証運行を実施中！

現在、荻窪駅南側エリアでは、グリーンスローモビリティ\*の実証運行を実施しています。9日の実証運行には岸本聡子杉並区長と学識経験者の三重野真代さんが参加し、次世代の乗り物として地域の足を担う可能性がある新モビリティを体験しました。

区は、今後の高齢化の進展等を見据え、誰もが気軽に快適に移動できる地域社会の実現に向けて、MaaS等新モビリティサービスの導入を検討しています。

その取り組みの一環として、現在、荻窪駅南側エリアでグリーンスローモビリティの実証運行を実施しています。実証運行で使用している車両（ヤマハAR-07）は定員5名で、荻窪駅から（仮称）荻外荘公園、荻窪地域区民センターなどを、時速19キロメートル程度で約30分かけて周回走行しています。また、スマートフォンアプリを活用したリアルタイム運行情報発信やデジタルスタンプラリーなど、MaaSを活用した取り組みもあわせて実施しています。

本日11時から行った実証運行には、区長や東京大学公共政策大学院特任准教授でグリーンスローモビリティを研究している三重野真代さんら学識経験者などが参加。新モビリティを体験した区長は、「のんびりと気楽な感じで乗ることができ、座席が近いので同乗者となんとなく会話が始まるという雰囲気も味わえました。単なる移動手段にとどまらない、ちょっとしたコミュニティづくりの一助になるようなところに好印象を持ちました」と今後の導入に対し前向きにコメントしました。

※ グリーンスローモビリティ（略称：グリスロ）…時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称です。グリスロは環境に優しい移動サービスとして全国各地で活用され、そのゆっくりと開放的な特性から乗客同士のコミュニケーションを生む効果も期待されています。



### 【問い合わせ先】

都市整備部管理課交通企画担当：03-3312-2111（代表）